



## 【クラブ活動の紹介】 *Be Unique!* 海洋ならではの挑戦 2013 マリンバイオ部 活動報告No.17

～ 1月 ～

### ◎ シロザケ管理

シロザケは毎日の平均水温の和が  $480^{\circ}\text{C}$  になると、ふ化のピークを迎えます。この水温の和を積算温度といい、単位を「 $^{\circ}\text{C}\cdot\text{日}$ 」で表します。マリンバイオ部は水温を約  $10^{\circ}\text{C}$  にキープしているため、ふ化のピークを15日と予想しました。

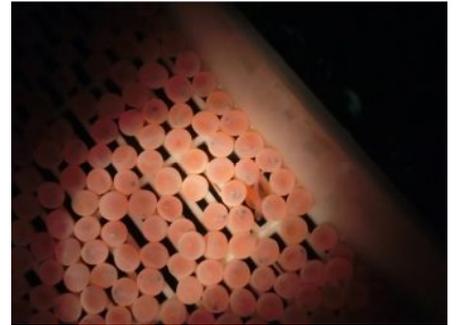
1月13日、よく観察すると卵の中で少し動いているのが分かるようになりました。マリンバイオ部は500粒を管理しています。



[ 朝 水温測定・観察 ]



[ 昼 水温測定・観察 ]



[ 夕 よく見ると動いた ]

1月14日、11時頃からふ化が始まりました。翌朝からは未ふ化の卵をカウントし、ふ化率を出していきました。積算温度が  $480^{\circ}\text{C}\cdot\text{日}$  に達した15日にはほとんどがふ化し、16日には全てふ化しました。



[ 14日 ふ化開始 ]



[ 15日 卵のカウント ]



[ 16日 全てふ化 ]

### ◎ リュウグウノツカイ



[ リュウグウノツカイ ]



1月21日、昼休み中に魚類相調査を行っているとき、水面を漂うリュウグウノツカイを発見しました。体表に大きなスレあとが確認できたので、定置網に入って漁獲された後、捨てられたのではないかと考えられます。しかし、初めて見るリュウグウノツカイに感動しました。この後、リュウグウノツカイは静かに海に沈んでいきました。